

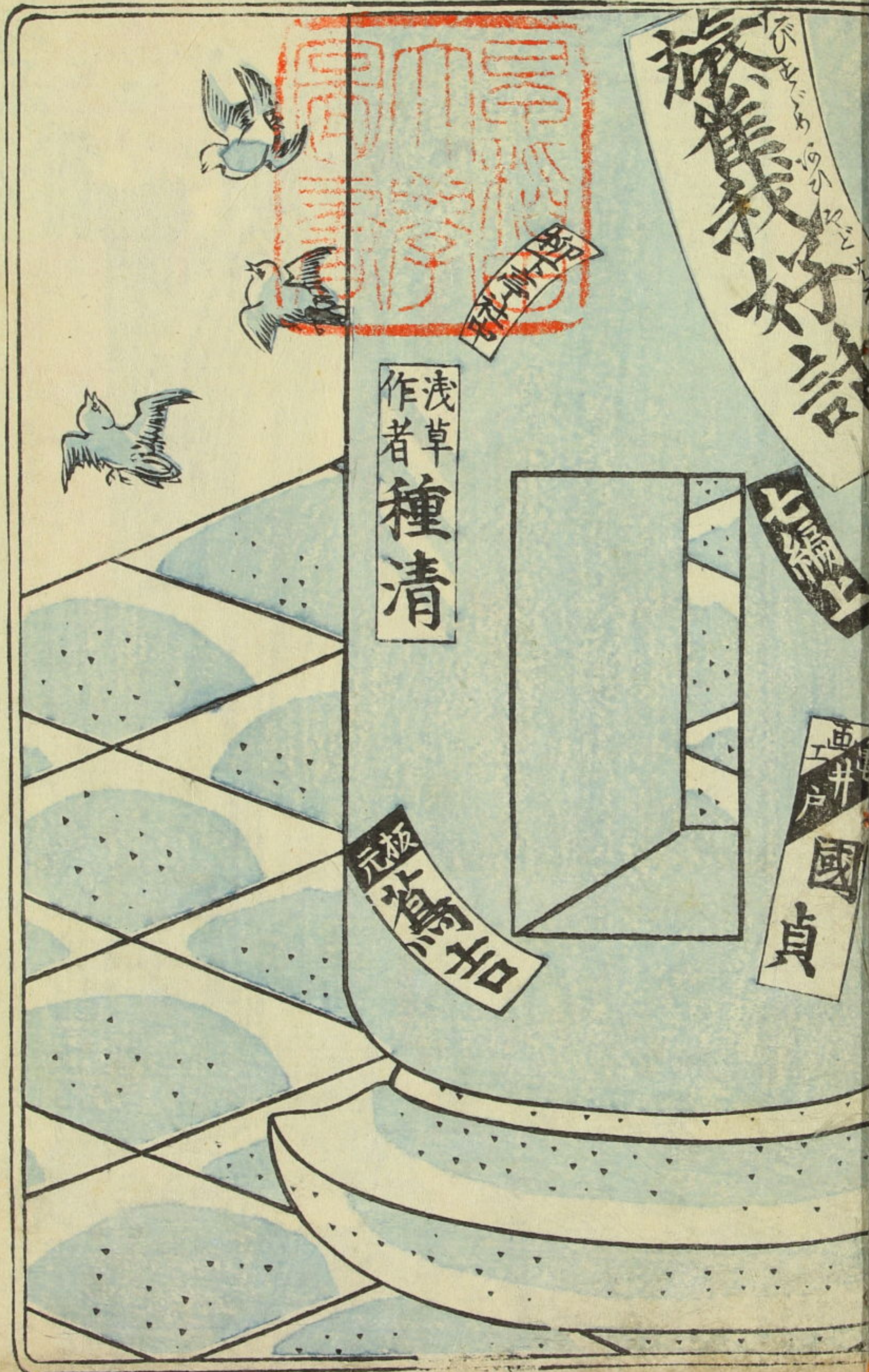
多美敷
壽面安
品弥度
馬南志
七編之
富久路
梅蝶標
久仁佐
駿之曲

柳門下
亭人柳
永亭
種清
之種清
通知多
喜知
之校

~ 13
3806
7



13
3806
7



浅草種清
作者

宇都宮の國の前

宇都宮

宇都宮の國の前

宇都宮



旅雀 我好 志好

七編下

國貞画

七編上

種清作

種員閱

猿

雀

秋

好

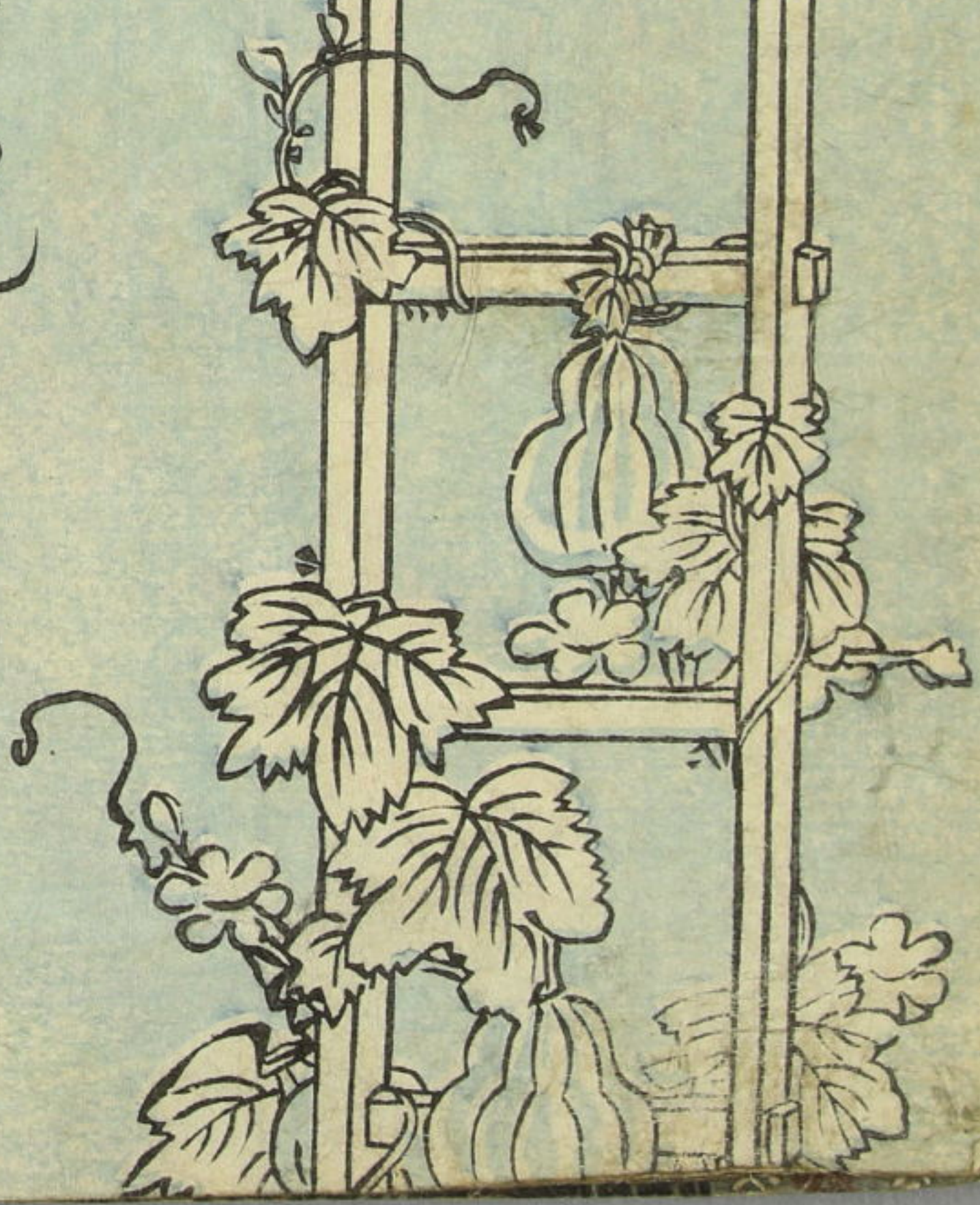
話

柳下子

七夜下

種法作
四頁畫

紅英堂發行



一 市

桃の天々たる其葉纂々たる子子に歸ぐる國風ふり唐土に
古詩彼木小歸ぐりあはれ詠法師が慣吉の桃の黄鳥きり
阿月比狂ひも血の做りさかの雨人の醜漢に戀慕あがり延の洞
簫是笛竹の節謡ふ竹の雀は形も剪るれは怨家の餅は
竿ノイその笛とヤト借お二里八丁の湖の真帆うち揚ぐ出板は
當りまは矢步船狂夫も七編と弥次で花洛地着て喜多の柳水亭
小浮寒子當々柏子の紅英堂に儲上京とむるで下向後作者もふの
血が顛ひ桃小鶯日の昇ふ卯此初春とせえ東海道と驛せと來と
得意公へお後ひのうも膝栗毛の戻馬賤賃ふ木曾路と召せぬと
一

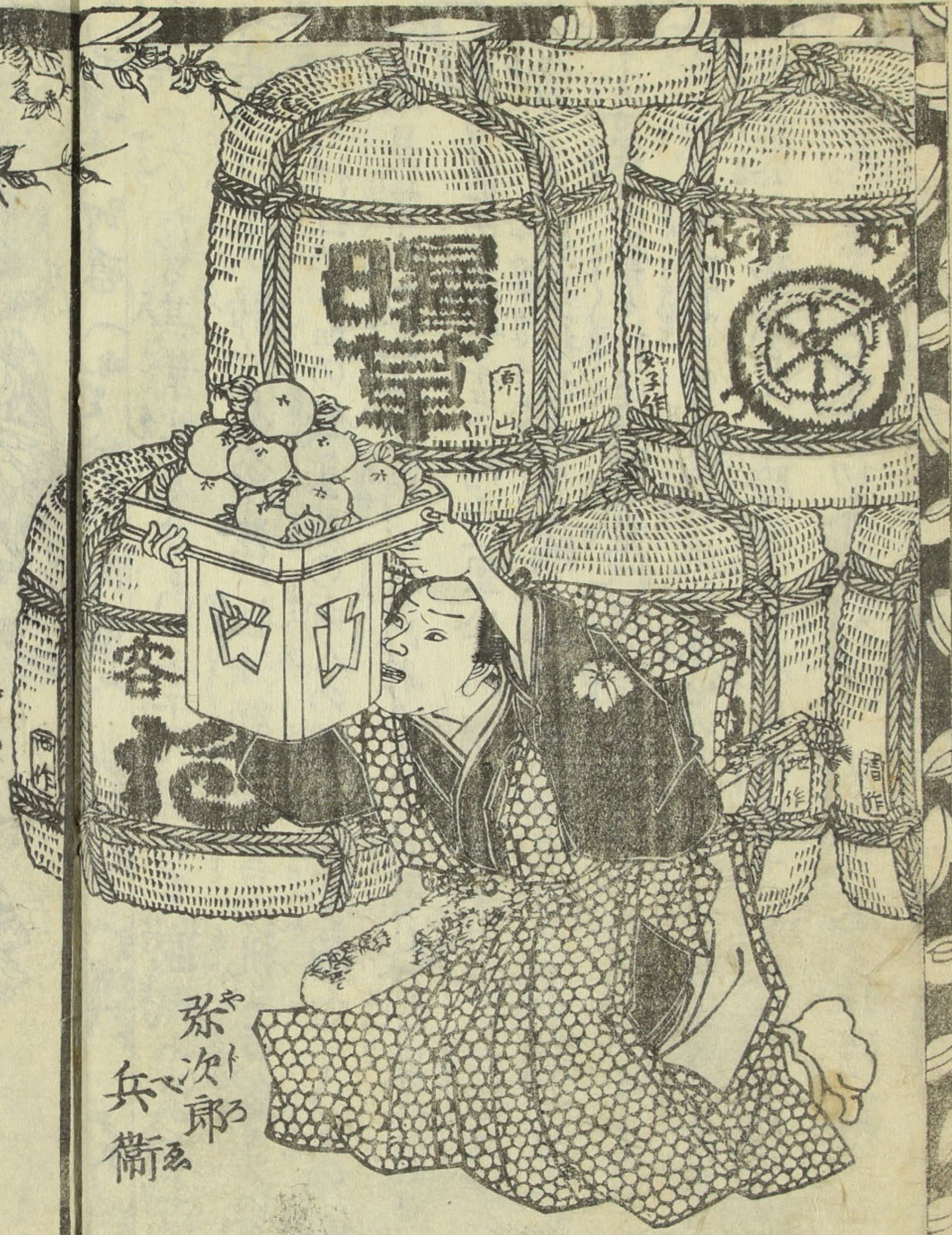
貞九

嘉永八乙卯年初春新刻

柳水亭種清記



阿月 下 阪



兵衛 次郎



草津の苗女
底利水桶野



喜多
八

種清補綴

種清補綴
種子清補綴
種子清補綴
種子清補綴



國貞西圖

本實母散

本實母散
本實母散
本實母散
本實母散

中稿

南傳馬町二丁目東側 千葉堂孝輔製

御免痲積湯 せんきののゆ

せんきののゆ

御用藥所 信州上田東山堂製



せんきののゆ
せんきののゆ
せんきののゆ
せんきののゆ

一匁

九四匁

大日本國郡輿地全圖

大奉書 六枚巻

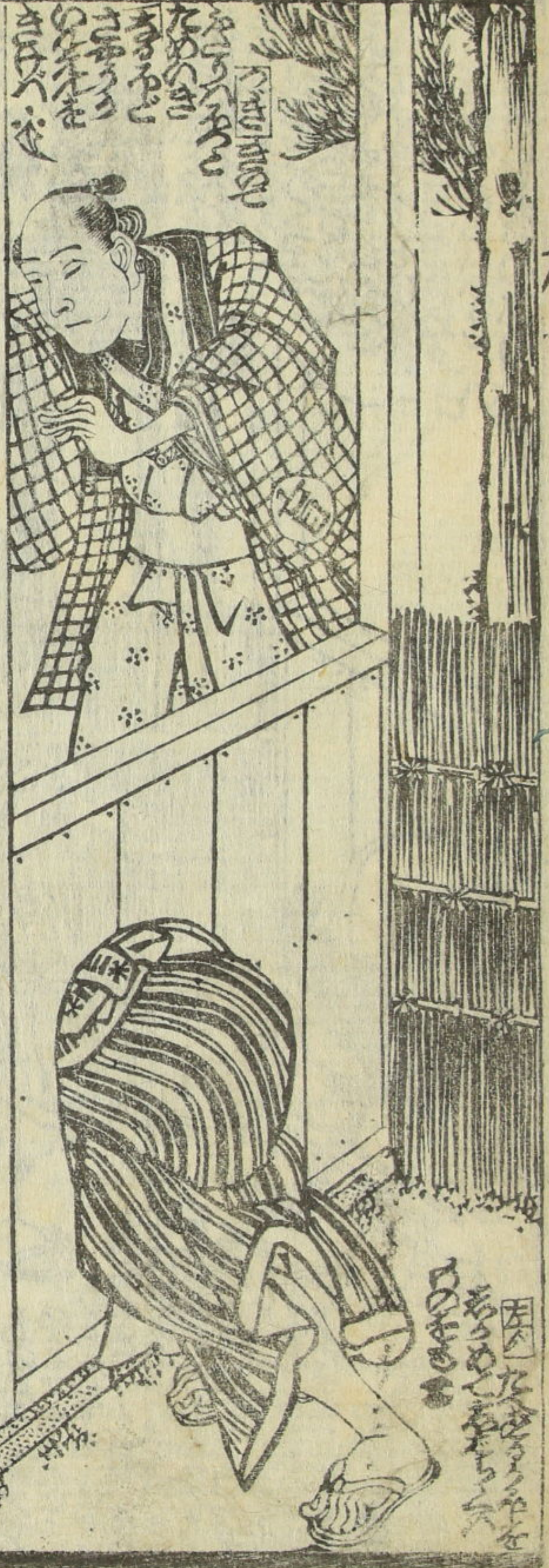
府郷御江戸繪圖

同册 六枚巻

せんきののゆ
せんきののゆ
せんきののゆ
せんきののゆ

葛屋吉藏

江戸南傳馬町二丁目



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

体束版
ゆづり



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの

あつちの

あつちの



長門二

一三



長門七

一四



木屋

屋

か

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。

木
屋
の
中
に
は
木
材
が
多
く
積
ま
れ
て
い
る
。



Vertical columns of Japanese text, likely a chapter heading or introductory text, written in a traditional calligraphic style.

山崎

五



Vertical columns of Japanese text, likely a chapter heading or introductory text, written in a traditional calligraphic style.

山崎

五



此の如くは
 世に於ては
 人の心は
 雲の如く
 空を渡る
 風の如く
 身を動かす
 水は流る
 石は落ち
 花は散る
 月も経る
 日も経る
 世も経る
 人の命も
 経るなり
 此の如くは
 世に於ては
 人の心は
 雲の如く
 空を渡る
 風の如く
 身を動かす
 水は流る
 石は落ち
 花は散る
 月も経る
 日も経る
 世も経る
 人の命も
 経るなり



此の如くは
 世に於ては
 人の心は
 雲の如く
 空を渡る
 風の如く
 身を動かす
 水は流る
 石は落ち
 花は散る
 月も経る
 日も経る
 世も経る
 人の命も
 経るなり
 此の如くは
 世に於ては
 人の心は
 雲の如く
 空を渡る
 風の如く
 身を動かす
 水は流る
 石は落ち
 花は散る
 月も経る
 日も経る
 世も経る
 人の命も
 経るなり

Vertical columns of handwritten text in a cursive style, likely representing dialogue or a narrative. The text is arranged in columns that wrap around the illustrations. Some characters are circled or highlighted, possibly indicating specific names or key terms. The text is densely packed and covers most of the page area.



Small vertical text on the left margin, possibly a page number or reference.

Small vertical text on the right margin, possibly a page number or reference.

早津屋
火之用心



早津屋
 火之用心
 喜



早津屋
 火之用心
 喜

此圖畫之山水
 乃係一處名勝
 其間有山有水
 有屋有樹有舟
 其景甚佳
 此圖畫之山水
 乃係一處名勝
 其間有山有水
 有屋有樹有舟
 其景甚佳
 此圖畫之山水
 乃係一處名勝
 其間有山有水
 有屋有樹有舟
 其景甚佳



此圖畫之山水
 乃係一處名勝
 其間有山有水
 有屋有樹有舟
 其景甚佳

嘉永八年乙卯新春新錄目錄

古今草紙合 <small>文正</small>	嶼巡浪間朝祭	俠客傳 <small>小模路說</small>	御誓美少年始	八犬傳大品紙	大晦日曙草紙
仙果作 編國輝画	種員譯 編同画	西馬譯 編同画	同錄 編國細画	仙果錄 豐國画 編國貞画	生編京山作 生編芳細画
地本 問屋葛屋吉藏板	旅雀我好話	花叢笠袴雅物語	八重撫子裏物語	松浦船水棹婦言	童謡妙人車
	種清終 國貞画 編員閱	西馬譯 國輝画	同錄 國貞画	仙果錄 國芳画	種員作 編國貞画



梅書七

